



あかしや

～豊かなくらしを、ともに創り出す子どもの育成～

山形市立第九小学校

令和7年6月30日 No.4

発行：校長 沼澤 聡

自分を信じ、仲間を信じ、より速く、より高く、より遠くへ！

6月3日（火）に、第56回山形市小学校陸上運動記録会がネッツえがおフィールドで行われ、九小からも6年生の代表16名が、4つの種目に参加してきました。

運動会直後ということもあり、体育の学習以外での練習はほとんどしないでの参加となりました。加えて、当日は、途中から雨が降る小学生には難しいコンディションでしたが、選手はみんな、最後まで九小の代表として精一杯競技してきました。他校の選手の競技する姿に刺激を受けたり、たくさんの人の中で競技したりなど、学校とはまた違った学びがあったのではないかと思います。

- ◇男子400mリレー … 荒井玲慶さん・延藤達也さん・伊藤遼希さん・富樫海祐さん(58“47)
- ◇女子400mリレー … 橋本 茜さん・川口陽葵さん・阿部希々愛さん・岩渕月希さん(1’04“12)
- ◇男子100m走 … 富樫海祐さん(14“53)、荒井玲慶さん(15”07)、中川叶翔さん(15“50)
- ◇女子100m走 … 阿部希々愛さん(16”04)、川口陽葵さん(16“16)、會田琉愛さん(16”52)
- ◇男子走り幅跳び … 佐々木悠翔さん(3m71cm)、延藤達也さん(3m42cm)
- ◇女子走り幅跳び … 岩渕月希さん(3m17cm)、鈴木実和さん(2m95cm)
- ◇男子走り高跳び … 澁谷晃誠さん(1m10cm)、佐竹孜友(1m10cm)
- ◇女子走り高跳び … 森谷鈴さん(90cm)、渥美花菜さん(90cm)



水泳の学習が始まっています。

先週から、子どもたちが楽しみにしている水泳の学習が始まりました。これから1学期の終わりまで、天候を見ながら水泳の学習が続きます。施設の維持・管理の問題、酷暑の影響等で、市内でも水泳の学習が厳しい状況にある学校が出てきていますが、九小では、体育技能の向上と命を守る学習であるという観点から、水泳の学習は大切にしていきたいと考えています。

【保護者の皆様へ改めてお願い】

学校では、『忘れ物』があった場合でも、それだけで学習に参加できなくならないようにと考えています。水泳以外の学習では、忘れ物をしても、友達の教科書を見せてもらったり、教師分を貸りたり等での学習参加が可能です。水泳の学習では、その特性上、**①子どもの健康観察の徹底と保護者の許可、②水泳用具の個人持ち（貸し借りが一切できない）**が必要であり、これらがないと水泳の学習ができなくなってしまいます。

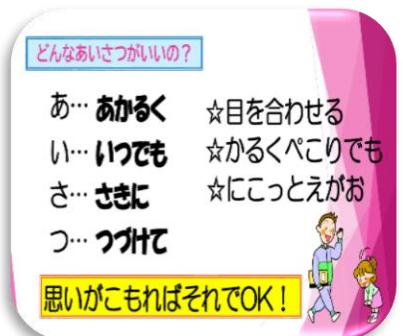
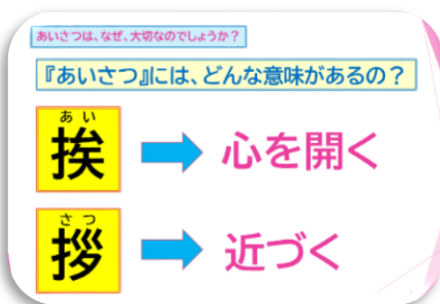
このような状況を避けるため、今年は、朝の連絡がなかった場合等、学校から電話を差し上げて確認するという方法を試していますが、人数があまりに多くなるとこれも難しくなります。保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、**水泳の学習の期間中は、毎朝の学校へのメール連絡を忘れず**に行っていただくよう、改めてご協力をお願いいたします。

九小にもっとすてきなあいさつをひびかせよう！

あかしやっ子の自慢のひとつに『あいさつ』があります。今年の新任式でも、6年生の代表児童が、九小のよいところとして、一番目に紹介してくれました。実際に、明るくあいさつを返してくれる人、遠くからや後ろからでもあいさつをしてくれる人がたくさんいます。あいさつができることは、人と人が関わり合う上で、まずは大切にしたいことです。この九小のあいさつを、もっとレベルアップしてほしいと思い、6月18日（水）の全校朝会で、あいさつについての講話をしました。主な内容は以下の通りです。

- ☆『挨拶』という漢字には、『お互いに心を開いて、相手の心に近づいていく』という意味があること。（心の扉を、“とんとん”と優しくノックすると、相手も笑顔で応えてくれる）
- ☆挨拶することで、『相手と近づき、より良い人間関係をつくれる』『仲良くなるきっかけになる』『お互いに気持ちよくなる』
- ☆レベルアップのために⇒『あ』…明るく、『い』…いつでも・だれにでも、『さ』…さきに、『つ』…続けるが大事。でも、難しい人は、『にこっと』『かるくペコリ』『目を合わせる』から始めてみよう！

人は、いろいろな人と関わり合いながら生きていきます。そして、人と関わることで、より豊かに生きていくことができると考えています。あいさつは、人と関わる上での第一歩です。子どもたちにも大切にしてほしいと思っています。



フレンド班活動（異学年交流）を行いました。

6月26日（木）に、今年度1回目のフレンドタイムが行われました。1～6年生までの異学年11～12人でグループをつくり、3月まで、一緒に活動することになります。

1回目は、『班員みんなの顔と名前を覚えて、楽しい活動にする』ことが一番のねらいです。班ごとに集まって自己紹介をした後、一緒にお弁当を食べ、その後ゲームをしました。ゲームも、自分の名前を言ってからお題に答えたり、自己紹介で話した内容を6年生がクイズにしたりと、お互いのことを知ることができるように、6年生の交流委員が考えてくれました。話したこともない、名前も知らない同士でしたが、すぐにあちらこちらから楽しそうな声が聞こえてきていました。

縦割り班の活動は、同学年だけの活動とは違ったよさがたくさんあります。異学年の仲間との交流を通して、様々なことを学んでほしいと思います。

